

2019年度第4回（通算第41回）理事会（臨時） 議事録

一般財団法人国際法学会

1. 日 時：2020年2月11日(火・祝) 14時～15時45分

2. 場 所：東京大学法学部3号館8階会議室

3. 出席者：

理事 18名中 13名

(代表理事) 浅田正彦 (理事) 石田淳、植木俊哉、小畑郁、兼原敦子、酒井啓亘、都留康子、中谷和弘、西谷祐子、西村弓、濱本正太郎、濱本幸也、真山全

(監事) 佐野寛

(オブザーバー) 黒崎将広 (研究大会運営委員会幹事)

(事務局) 新井京

4. 議事要旨

開催に先立ち、定款第29条3項に基づき代表理事が議長となった。定款第41条1項及び2項に基づき、定足数が確認され、議決に加わることのできない議長を除く12名の理事が参加していることから、議決に加わることのできる理事17の過半数(9名)以上が出席していることが確認された。

1) 報告事項

1 国際法外交雑誌在庫に関する件

真山事務局長より、高村理事から以下の通りの報告があったことが報告された。「①在庫の処分に関して、会計士および日本学術振興会に問い合わせ問題が無いことが確認されたこと。②114巻までの雑誌在庫について、永久保存分以外に、各号最大15部を活用分として当面保持し残りは処分する。③活用分の配布の方法は次回理事会において報告する。」

2 オンライン会員管理システムに関する件

真山事務局長より、森川会員委員会委員長から「オンライン会員管理システムへの移行のための会員へのお願い文書やその他必要な関連文書は、2月末までに作成し、理事監事各位に回覧する」との報告があったことが報告された。

真山事務局長より、さらに、システム上公開する情報・公表しない情報が決まったら、4月の会費振込用紙郵送封筒に説明文と回答用葉書を同封し、各会員に關係事項を記入して返送してもらう予定であることが報告された。

3 ニュースレターに関する件

真山事務局長より、森川会員委員会委員長から2019年12月にニュースレターの今年度3号が発行されたとの報告があったことが報告された。

4 4学会国際会議に関する件

真山事務局長より、古谷国際交流委員会委員長から以下の通り報告があったことが報告された。
①日本からの報告者公募に対して 11 名の応募があったこと。② 4 学会報告者選考委員 9 名により報告者が決定されること。③セッションの座長やディスカサントとして浅田代表理事、兼原理事が参加すること。④前記 2 名に関する渡航費などに関して江草基金に助成を申請すること、⑤会議の成果の出版に関して古谷委員長が編集責任者となること。

浅田代表理事より、江草基金からの助成採択の報告があったことが報告された。報告者の便宜のため、渡航費について学会からの財政的援助ができないかとの提案があり、検討されることとなった。

5 その他

小畑若手研究者育成委員会委員長より、2020 年度のアジアカップを 8 月 18 日～19 日に開催されることが報告された。

2) 議決事項

第 1 号議案 2019 年度第 3 回（通算第 22 回）評議員会（臨時）招集に関する件

浅田代表理事より、2019 年度第 3 回評議員会招集について提案があり、定款第 41 条 1 項及び 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（12 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 定款第 19 条 2 項及び第 20 条 1 項に基づき、2019 年度第 3 回（通算第 22 回）評議員会（臨時）を下記の日時、場所、及び目的で招集する。

日時：2019 年 3 月 22 日 14 時より
場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

会議の目的、議案の概要

報告:

1 2020 年度事業計画に関する件

2 2020 年度予算に関する件

議案:

第 1 号議案 評議員の選任に関する件

第 2 号議案 理事の選任に関する件

第 3 号議案 監事の選任に関する件

第 4 号議案 その他

第 2 号議案 2020 年度事業計画に関する件

真山事務局長より、2020 年度事業計画（案）について提案があり、定款第 41 条 1 項及び 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（12 名）の賛成により以下の

通り議決された。

【議決事項】 次のとおり、2020年度事業計画（案）を承認する。

2020年度 事業計画(案)

一般財団法人国際法学会定款第4条各号に基づく本年度事業計画は以下の通り。

第1号 国際公法及び国際私法ならびに国際政治・外交史に関する諸問題の調査研究

1. 第4号に該当する研究大会における調査研究項目
2. 一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程第5条2項に基づく研究情報入手及び整理の事業(国際関係法情報の更新)
3. 一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程第8条3項に基づくエキスパートコメント委員会の事業

第2号 当法人と目的を同じくする内外諸団体との連絡

1. 一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程第7条2項に基づく国際交流活動
4 カ国交流の2020年度活動
日韓交流の2020年度活動
2. 日本弁護士連合会その他団体との今後の協力事業

第3号 雑誌及び刊行物の発行

1. 機関誌『国際法外交雑誌』年4回発行
(1)第119巻 第1号 2020年5月 発行予定
(2) 同 第2号 2020年8月 発行予定
(3) 同 第3号 2020年11月 発行予定
(4) 同 第4号 2021年1月 発行予定

第4号 研究会、講演会及び講習会の開催

1. 年次研究大会(第123年次)の開催
2020年9月7日(月)・8日(火)・9日(水)愛知県労働産業センター ウインクあいち
2. 上記研究大会における小田滋 ICJ 判事記念レクチャーシリーズの開催

第5号 その他理事会において必要と認める事業

1. 小田滋賞の2020年度事業
2. 国際法模擬裁判アジアカップ2020の主催、ジェサップ国際法模擬裁判への協力

第3号議案 2020年度・2021年度・2022年度研究大会会場に関する件

黒崎研究大会運営委員会幹事より、2020年度研究大会に関する各種計画および「ウインクあいち（愛知県産業労働センター）」の下見について報告がなされ、さらに2021年度研究大会を2021年9月6日～8日に「新潟朱鷺メッセ」で開催すること、また2022年度研究大会につい

ては9月5日～7日に開催する（複数の会場候補を含め）が提案され、定款第41条1項及び2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（12名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 2021年度研究大会を2021年9月6日～8日に新潟市の「朱鷺メッセ」で開催する。2022年度研究大会は、2022年9月5日～7日の予定で、会場について研究大会運営委員会により引き続き検討を行う。

第4号議案 2020年度研究大会企画に関する件

兼原研究企画委員会委員長より、研究大会企画案について報告がなされた。さらに、報告公募の状況について説明がなされた。

【議決事項】 なし

第5号議案 国際法外交雑誌の編集に関する件

植木編集委員会委員長より、国際法外交雑誌第118巻および119巻の編集の状況について説明がなされた。

【議決事項】 なし

第6号議案 小田滋賞に関する件

西谷国際関係法教育委員会委員長より、第7回小田滋賞に関し、国際法分野の論文7編、国際私法分野の2編、国際政治・外交史分野の論文3編の合計12編の応募があり、現在、予備審査中であることが報告された。審査員についても内諾を得ていることが報告された。第8回以降の授賞式のあり方、それに伴う応募要領（締切日等）の改訂について国際関係法教育委員会において検討が進められていることが報告された。

【議決事項】 なし

第7号議案 2020年度予算に関する件

濱本会計部長より、2020年度収支予算案が説明された。また、小畑若手研究者育成委員会委員長より、2019年度アジアカップに関する外務省助成金および申請中の日本財団からの補助金について補足説明があった。定款第41条1項及び2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（12名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 2020年度収支予算案を原案通り承認する。

第8号議案 国際法学会ホームページ英語版に関する件

都留ホームページ委員会委員長より、英語版ホームページの充実に関するホームページ委員会で

の検討状況について報告がなされた。大会の日程、大会プログラム、雑誌目次などから情報発信をスタートするため、必要とされる情報提供を各理事に協力が要請された。

【議決事項】 なし

第9号議案 新入会の承認に関する件

真山事務局長より、以下の2名（学生会員1名、一般会員1名）の入会を認めることが提案され、定款第41条1項及び2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（12名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 会員の異動（新入退会等）

入会=2名（一般会員=1名、学生会員=1名）

退会希望会員=6名

現在の会員数

880名（一般会員762名、名誉39名、院生73名、特別3名、終身1名、維持会員2件）

（会員種別変更：院生より一般会員へ1名）

第10号議案 その他

（1）市民講座「海と国際法」出版に関する件

中谷アウトリーチ委員会委員長より、2019年10月の市民講座について、出版社より成果出版の企画が提案されたことが報告された。審議の結果、編集主体のあり方などについて配慮しながら、出版社が企画を進めることを了承した。

【議決事項】 なし

（2）日弁連の会合への協力に関する件

中谷アウトリーチ委員会委員長より、9月12日に開催される日弁連キャリアセミナーに協力するため、中島啓会員に派遣することが報告された。

【議決事項】 なし

（3）エキスパート・コメントの取り扱いに関する件

酒井エキスパート・コメント委員会委員長より、エキスパート・コメント執筆者より自身のブログへのコメントの再掲載依頼があり、同委員会において検討が行われた結果、初出を明示すること、改変する場合には改変箇所を明示することを条件として認める方針となったことが報告された。

【議決事項】 なし